

気管支鏡検査を受けられた患者さん・ご家族の皆様へ

「気管支鏡検査の安全性に関する観察研究」について

はじめに

鳥取大学医学部附属病院呼吸器内科・膠原病内科では、気管支鏡検査を受けられた患者さんを対象に、カルテ、看護記録等（以下、「カルテ等」といいます）の診療情報から得られる情報をもとに研究を実施しています。

この研究は鳥取大学医学部倫理審査委員会の承認を経て、医学部長の承認を受けています。詳細は以下のとおりです。

1. 研究概要および利用目的・方法

本研究では、2019年1月1日から2032年12月31日までの期間に、鳥取大学医学部附属病院呼吸器内科・膠原病内科において、気管支鏡を受けられた時の年齢が15歳以上の患者さんのカルテ等から、情報を集めさせていただき、「気管支鏡検査の安全性に関する観察研究」を調査します。また、それ以外にも、「内服薬と合併症との関連」、「健康食品と合併症との関連」についても調査を予定しています。

すべての情報は、鳥取大学医学部附属病院呼吸器内科・膠原病内科で集計されます。

本研究に参加される患者さんは、他の研究参加者への個人情報保護や本研究の独創性の確保に支障がない範囲で、研究計画書及び研究の方法についての資料を入手又は閲覧することができます。希望される方は、遠慮なく問合せ窓口にお申し出ください。

2. 取り扱う情報

患者さんのカルテ等の診療情報から以下の項目を集めさせていただきます。

【患者さんの情報】

気管支鏡検査の対象となった疾患、病変部位

診断時所見（性別、生年月日、年齢、身長、体重、血圧、脈拍、SpO₂、症状、血液検査所見（白血球数、白血球分類、赤血球数、血小板数、CRP、PT、APTT、腫瘍マーカー（CEA、SCC、CYFRA21-1、proGRP、NSE、SLX、CA19-9、sIL-2R）、HBsAg、HBcAb、HBsAb、HCV Ab、KL-6、SP-A、SP-D、抗核抗体、各種自己抗体（抗ds-DNA抗体、抗U1-RNP抗体、抗Sm抗体、抗SS-A抗体、抗SS-B抗体、抗CCP抗体、抗カルジオリピンIgG抗体、抗CL-β2GP1抗体、PR3-ANCA、MPO-ANCA、抗TIF1-γ抗体、

抗ARS抗体、抗Jo-1抗体、抗MDA5抗体、抗Mi-2抗体)、BUN、Cr、Na、K、Cl、Ca、TP、Alb、ビリルビン、AST、ALT、ALP、 γ GTP、LD、CK、フェリチン、BNP、HgbA1c、Dダイマー、 β -Dグルカン、アスペルギルス抗原、MAC抗体、IGRA、IgG、IgA、IgM、C3、C4、CH50、IgG4、ACE)、尿検査(尿蛋白、尿糖、ケトン体、潜血、ビリルビン、亜硝酸塩、白血球反応、赤血球沈査、白血球沈査、硝子円柱、その他円柱)、X線、CT所見、MRI所見、RI検査所見、心電図、呼吸機能検査所見、血液ガス所見)併存症、既往症、家族歴、喫煙歴、飲酒歴、アレルギー歴、服薬歴、健康食品の摂取歴

【気管支鏡検査に関わる項目ならびに結果】

- 検査時間
- 検査前後の血圧、心電図所見、SpO₂、脈拍
- 検査の種類
- 使用した気管支鏡の型
- ナビゲーションシステム使用の有無
- 検査を行った気管支
- EBUSによるエコー像や腫瘍径
- 気管、気管支内腔所見
- 局所麻酔薬の種類ならびに投与量
- 鎮静薬の種類および投与量と鎮静度
- 鎮静薬以外の追加薬剤
- 気管挿管下での検査の有無
- 生検器具
- 抗菌薬投与の有無
- 生検組織肉眼所見、検査病理所見(細胞診、組織診)、気管支肺胞洗浄液(細胞数、細胞分類)。一般細菌、真菌の培養、抗酸菌の塗抹・培養結果、pneumocystis jiroveciiのPCR結果。肺癌組織のPD-L1発現、Driver Oncogene。迅速細胞診の結果

【気管支鏡検査の経過及び合併症】

- 出血、感染症、気胸などの合併症の頻度
- 止血処置の有無
- 合併症出現時に気管挿管等呼吸管理を要したかどうか
- 合併症発症後の転帰
- 合併症に伴う入院期間延長の有無とその入院期間
- 合併症により原疾患の治療に影響を及ぼしたかどうか

3. 研究期間

この研究は、鳥取大学医学部長が研究の実施を許可した日から2032年12月31日ま

で行う予定です。

4. 個人情報保護の方法

患者さんの情報は、研究責任者が責任をもって保管、管理します。また、氏名、イニシャル、住所、電話番号、カルテ番号などの直ちに個人を識別できる個人情報は匿名化*され、本研究では匿名化された情報を使用します。このようにして患者さんの個人情報の管理については十分に注意を払います。

*匿名化について：本研究にご提供いただく情報については、患者さんの氏名、住所、電話番号、カルテ番号など、患者さん個人を直ちに特定できるような情報をすべて削除し、代わりにこの研究用の登録番号をつけます。なお、研究の過程で情報がどの患者さんのものかを知る必要がある場合も想定されます。その場合に備えて、情報と患者さん個人を結びつけることのできる対応表を作成させていただきますが、この対応表は研究責任者によって鍵のかかる保管庫で厳重に管理されます。

5. 研究への情報提供による利益・不利益

利益・・・今回の研究に情報をご提供いただいた患者さん個人には、特に利益と考えられるようなことはございませんが、研究の成果は、将来の難治性喘息の治療法の進歩に有益となる可能性があります。なお、情報を使用させていただいた患者さんへの謝礼等もありません。

不利益・・・カルテ等からの情報収集のみであるため、特にありません。

6. この研究終了後の情報の取り扱いについて

今回、集めさせていただき患者さんの情報が医学の発展に伴い、他の病気の診断や治療に新たな重要な情報をもたらす可能性があります。このため、患者さんの情報は、この研究終了後も保存させていただき、他の研究に使用させていただくことがあります。その場合は、新たに研究計画をたてて研究に参加する医療機関の倫理審査委員会での審査を経て、他の研究に使用させていただきます。

情報は、当該研究の終了について報告された日から5年を経過した日又は当該研究の結果の最終の公表について報告された日から3年を経過した日のいずれか遅い日までの期間保存します。保存期間終了後は、患者さん個人を特定できない状態にして適切に廃棄します。

7. 研究への情報使用の取り止めについて

患者さん個人の情報を研究に用いられたくない場合には、いつでも取り止めることができます。取り止めを希望された場合でも、担当医や他の職員と気まずくなることはありませんし、何ら不利益を受けることはありませんので、下記【問い合わせ窓口】までお申し出ください。未成年者の方では、保護者の方（父母、成人の兄弟、祖父母、同居の親族などの近親者）からの研究不参加のお申し出やお問い合わせに対しても対応いたします。

取り止めの希望を受けた場合、患者さんの情報を使用することはありません。この場合には、個人を特定できない状態にして、速やかに廃棄させていただきます。

しかし、取り止めに希望した時点で、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合のように、結果を廃棄できない場合もあります。

8. 当該臨床研究に係る資金源について

本研究は、鳥取大学医学部附属病院呼吸器内科・膠原病内科の研究費で行っており、特定の企業・団体等からの支援を受けて行われるものではなく、利益相反状態にはありません。

9. 研究成果の公表について

研究成果が学術目的のために論文や学会で公表されることがありますが、その場合も、患者さんの個人が特定される情報は全て削除して公表します。情報の秘密は厳重に守られますので、第三者に患者さんの個人情報明らかになることはありません。

10. 知的財産権の帰属について

本研究の結果、特許などの知的財産が生じる可能性もございますが、その権利は鳥取大学に帰属し、あなたには帰属しません。

11. 問い合わせ窓口

本研究についてのご質問だけでなく、患者さんの情報が研究に用いられているかどうかをお知りになりたい場合や、患者さんの情報の使用を望まれない場合など、この研究に関することは、下記の窓口までお問い合わせ下さい。

【研究責任者】

木下 直樹 鳥取大学医学部附属病院 呼吸器内科・膠原病内科 助教
〒683-8504 鳥取県米子市西町 36-1
TEL：0859-38-6532／FAX：0859-38-6530

*この研究に関する情報は、鳥取大学医学部附属病院のホームページに掲載しております。

(URL：<http://www2.hosp.med.tottori-u.ac.jp/introduction/3107/>)